

「2008 平和のための埼玉の戦争展」が開催されました ～この子たちの未来のために世界を変える人になろう～

今年で第25回目を迎えた「2008 平和のための埼玉の戦争展」が、7月24日(木)～7月28日(月)の5日間、浦和コルソ7階ホールで開催されました。多くの小学生と、土・日には買い物途中や浦和祭り帰りのみなさんが来場し、のべ約11,000人を超える県民の皆さんが参観されました。

戦後63年を迎え、戦争を知らない世代が8割を占めているなか、改めて過去の戦争から悲慘さを学び、そして今の世界と向き合い、地球温暖化・食料・貧困・格差問題等の視点から平和を考える企画を大切にしました。

コーナーは、今の世界と向き合う、日本国憲法を学ぶ、核兵器のない世界をめざして、今日からきみもはじめよう等、特に「憲法の藤棚への平和メッセージ」やパズル「箱入り娘」の平和バージョンは大好評でした。高校生等の参観も多く写真や展示に見入りメモを取ったり、解説員の方から熱心に話を聞いたりしている姿もありました。

イベントルームでは、「ガラスのうさぎ」のアニメ上映、さいたまコープ平和くらぶによる被爆証言の朗読、貧困と戦争等の講演、みんなで作るピースライブが行われました。平和の広場では、ピースブックや憲法の藤棚を使った平和のメッセージや折鶴の作成、コンサートなどさまざまな企画が行われました。

さいたまコープ平和くらぶ連絡会は、「埼玉の基地・戦跡・資料館」「ふるさとさいたま平和マップ」等の展示と「平和クイズ」を実施。平和クイズは参考にと持ち帰る方も多く好評でした。

常任団体として参加している埼玉県生協連では、期間中の受付係と展示物の搬入・搬出を受け持ち、分担金の協力をしています。



埼玉の戦争展は、1981年に、埼玉県原爆被害者協議会、埼玉県婦人会連合会、埼玉県生協連、埼玉県連合青年団が共同で開催した「母と子の原爆写真展」をその母体として、県内の労働組合や多くの団体が参加して実行委員会を作り、「平和をもとめる県民運動」として開催されてきました。